

発行/恵那市議会

編集/広報広聴特別委員会

〒509-7292

恵那市長島町正家一丁目1番地1

TEL 0573-26-2111 (内線403)

メールアドレス gikai@city.ena.lg.jp

HPアドレス <https://www.gikai.city.ena.lg.jp/>



明智消防署水槽付消防ポンプ車



長島第3学童保育所



恵那西工業団地

総務文教委員会

市民福祉委員会

経済建設委員会



パロー恵那店内 えなえーる



国保上矢作病院



郷山ファクトリー

各常任委員会で、市内の施設・工事箇所・取り組みなどについて視察

～目次～

議会の構成が決定しました	2～4
12月議会定例会提出議案の概要	5～6
議案議決結果	7
議会活動報告	7
12月議会常任委員会報告	8～9
一般質問(10人登壇)	10～14
常任委員会管内視察報告	15
主な出来事、表紙の説明	16

議会だより3月1日号



議会の構成が決定しました

令和4年第4回恵那市議会定例会において、新しく議長、副議長、監査委員が決まり、併せて常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員構成も決まりました。

恵那市議会では申し合わせにより、議長、副議長、監査委員、常任委員会委員、議会運営委員会委員の任期は1年としています。

議長



千藤 安雄

副議長



柘植 孝彦

監査委員



堀 光明

議長の抱負

市民の皆様には、平素から、市議会に対し深いご理解とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。このたび、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。伝統ある恵那市議会の議長という大任を拝し、身に余る光栄でありますと同時に、責任の重さを痛感しております。もとより、浅学非才で微力ではありますが、克己復礼の精神を忘れずに行政知識を研鑽し、さらに開かれた議会を目指すとともに、円滑な議会運営に努めて参ります。

恵那市を取り巻く、人口減少・少子化・超高齢化社会という厳しい環境の中、未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症対策など行政が経験した事の無い時代に直面し、加えて原油価格・物価高騰など様々な課題が山積しております。反面、リニア新幹線開業を見据えたまちづくりの大きな夢や、地域や産業振興のためのWRC開催などの明るい計画もあります。小坂市長は就任以来、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4つの視点を重視した施策を推進されており、市政が抱える短期的、長期的な課題をしっかりと見極め、スピード感を持って、全力で取り組んでいかなければならないと考えております。市民の皆様の要望を市政に反映させるために市議会の果たす役割は非常に重要であります。二代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様の期待と信頼にお応えできるよう、市政の更なる発展と市民生活の向上に向けて常に公正・公平を心がけ取り組んで参ります。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会に対しまして、ご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

副議長の抱負

このたび議員各位の推挙を戴き副議長に就任いたしました。職務に努め市民の皆様への付託にお応えできるよう精励する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この3年間は新型コロナウイルス感染症との闘いであったといっても過言ではないと思います。市民の皆様は様々な機会と立場の中で生活を守るために、この難局に対応されました。しかし、この間にもそれぞれの地域では様々な課題が山積し、人口減少は進み、少子化は一段と厳しい状況となりました。これからの行政は、この様な状況も見据え施策や将来に亘る仕組みを考え、行政運営を進めていかなければなりません。

幸いにもこの地域では大きなプロジェクトが進められ地域振興、産業振興の未来に明るい展望も開けています。議会として第二次総合計画の着実な推進と地域が持続できる方策を示すことと、市民の皆様の声を市政に反映し機能する事が信頼につながるものと確信しています。議会としての責任を果たすべく議長を支え議員の皆様とともに全力で取り組みます。ご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

常任委員会



総務文教委員会

目的

総務部、まちづくり企画部、消防本部、消防署、教育委員会、会計の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の調査及び審査を行う。

定数 6人

市民福祉委員会

目的

市民サービス部、医療福祉部の所管に属する事の調査及び審査を行う。

定数 6人



経済建設委員会

目的

商工観光部、農林部、建設部、水道環境部、農業委員会の所管に属する事項の調査及び審査を行う。

定数 6人

議会運営委員会

目的

議会運営を円滑に行うため、日程、議案の取り扱いなどについての協議を行う。また、請願や陳情などの審査も行う。

定数 9人以内



特別委員会



瑞浪恵那道路・新丸山ダム建設促進特別委員会

目的

国道19号瑞浪恵那道路及び新丸山ダム建設促進と関連する諸問題について調査研究を行う。

定数 7人

広報広聴特別委員会

目的

議会だよりの編集発行を行うとともに、議会の活動等を広く市民に公開し、周知するための調査研究を行う。

定数 7人



リニア中央新幹線対策特別委員会

目的

リニア中央新幹線の建設に関する諸問題について調査研究を行う。

定数 7人

委員会構成

令和4年11月28日現在

委員会名		委員氏名			
常任委員会	総務文教委員会	○1 太田 敦之 2 猿渡 南江 3 佐々木 透	4 鵜飼 伸幸 5 後藤 康司 ◎6 町野 道明		
	市民福祉委員会	○1 林 貴光 2 秋山 佳寛 3 平林多津子	4 柘植 孝彦 5 堀 光明 ◎6 服部 紀史		
	経済建設委員会	○1 伊藤 勝彦 2 山内 敏敬 3 中嶋 元則	4 千藤 安雄 5 安藤 直実 ◎6 西尾 努		
議会運営委員会		○1 伊藤 勝彦 2 服部 紀史 3 平林多津子	4 堀 光明 ◎5 鵜飼 伸幸		

(番号：委員会における議席番号 ◎委員長 ○副委員長)

委員会名		委員氏名			
特別委員会	瑞浪恵那道路・新丸山ダム建設促進特別委員会	○1 太田 敦之 2 林 貴光 3 山内 敏敬 4 秋山 佳寛	5 柘植 孝彦 6 中嶋 元則 ◎7 鵜飼 伸幸		
	広報広聴特別委員会	○1 服部 紀史 2 平林多津子 3 佐々木 透 4 西尾 努	5 安藤 直実 6 町野 道明 ◎7 太田 敦之		
	リニア中央新幹線対策特別委員会	○1 西尾 努 2 服部 紀史 3 伊藤 勝彦 4 猿渡 南江	5 町野 道明 6 堀 光明 ◎7 後藤 康司		

※中嶋元則議員は欠席のため写真に掲載されておりません

令和4年 第4回定例会

条例の改正及び補正予算など 32件を承認・可決・同意しました

令和4年 第4回定例会が11月28日から12月26日までの29日間にわたり開催されました。

初日に議会構成が行われ、議長、副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の構成委員が決定しました。

今回の議会に上程された議案は、条例の制定3件、条例の一部改正9件、その他4件、人事案件4件、補正予算9件、議会提出議案の2件、追加議案では補正予算1件の合計32件です。主な議案の内容は次のとおりです。

なお、議決結果は6ページの議決一覧表にて掲載してあります。

条例関係

- 恵那市常勤の特別職職員との給与に関する条例の一部改正**
- 恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正**

- 恵那市職員の給与に関する条例の一部改正**
- 恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正**
- 恵那市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定**
- 恵那市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定**
- 恵那市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定**
- 恵那市職員の定年延長制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定**

職員の定年延長制度の導入に伴い、所要の改正をするため、条例10本を一つの整備条例として定める。

- 恵那市職員の給与に関する条例の一部改正**
- 恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正**
- 恵那市介護老人保健施設条例の一部改正**
- 恵那市介護老人保健施設条例の一部改正**
- 恵那市貸付金の返還債務の免除に関する一部改正条例の一部改正**
- 恵那市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正**

額することにより、消防団員の処遇改善を図るため、所要の改正を行う。

指定管理者の指定

2施設の指定管理者を指定

施設名	指定管理者
介護老人保健施設ひまわり	公益社団法人 地域医療振興協会
恵那駅西駐車場・武並駅前自転車駐車場	株式会社 日本メカトロニクス

その他

東濃5市消防通信指令事務協議会の設置

広域的な消防連携の強化や消防通信指令事務の高度化及び効率化を目的に、消防通信指令事務を共同で管理・執行する東濃5市消防通信指令事務協議会の規約を定め、協議会を設置する。

東濃5市消防指令センターの建設地は、瑞浪市北小田町2丁目176番地の2を予定しており、協議会の準備に関する事務所は瑞浪市消防本部とする。

人事関係

○恵那市公平委員の選任

榊原章夫氏の任期満了に伴い、再び恵那市公平委員会の委員を任命する。

榊原章夫氏（春日井市）再任

○恵那市固定資産評価審査委員の選任

藤井輝彦氏の任期満了に伴い、再び恵那市固定資産評価審査委員会の委員を任命する。

藤井輝彦氏（岩村町）再任

○恵那市教育委員の任命

西尾修欣氏の任期満了に伴い、再び恵那市教育委員会の委員を任命する。

西尾修欣氏（山岡町）再任

○恵那市監査委員の選任

柘植孝彦氏の辞任に伴い、新たに恵那市監査委員を選任する。

堀光明氏（申原）新任

補正予算関係

一般会計20億9487万3千円増額ほか6会計の補正予算を可決

○一般会計補正予算（第6号）

県が行う事業で、高校生以下の子どもがいる世帯に一律1万5千円を支給するため5600万円を

計上し、東濃5市で消防通信指令業務を共同運用していくため、1232万9千円の債務負担行為を設定した。

○一般会計補正予算（第7号）

及び特別会計・事業会計補正予算

新型コロナウイルス対策に係る事業として、ワクチン接種に必要な経費として7254万5千円などを計上した。

原油価格・物価高騰に係る事業として、医療機関等に対して支援を行うため2090万円、肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の低減に向けて取り組む販売農家に対して、国事業に上乗せして支援するため、1619万5千円、肥料価格高騰対策として化学肥料の低減の取り組みをする農業者が行う、取り組みに必要な機械・施設の導入に対して国事業に上乗せして支援するため、1071万5千円などを計上した。

緊急対応を要する事業として、オフィスオートメーション推進経費としてノートPCや庁内Wi-Fi整備等ICTインフラの整備を行うため1257万円、災害時の情報収集機能を強化するため、災害対策本部の機能充実に1485万円、道路維持管理事業費の危険木伐採及び私道整備への補助金増額、緊急修繕箇所増加による工事費増

額に4091万6千円、小中学校施設の老朽化等による施設修繕等で、主に大井第二小グラウンド暗渠配水改修工事・上矢作小校舎屋根防水工事・大井第二小及び東野小給食用昇降機改修工事・西中技術室棟屋根防水工事・北中プールサイド改修工事・上矢作中屋根防水工事などに1億1700万円、避難所となつている体育館へ空調設備を設置するための実施設計委託に6185万3千円、三郷小学校大規模改修工事の増額に4147万7千円などを計上した。

国庫・県支出金等の財源を活用した事業として、長島町331号線及び明智町市場東山線の交通安全対策事業費の増額に3800万円、自立支援給付費の増額に5842万4千円、小規模多機能型居宅介護事業所ケアホームあじさいのサテライト施設整備、明治安田生命保険相互会社様からの寄附により普及事業に必要な備品を整備するため3901万6千円、障がい児通所支援給付費及びサービス利用計画書作成費の増額に1956万4千円、生活保護費の医療扶助費の増額に3604万1千円などを計上した。

人事異動に伴う人件費の増減による減額補正が2630万6千円、公共施設整備基金積立金に11億100万円の積立、特別会計繰出金

の増減、事業会計補助金・負担金・出資金の増減による増額補正で1億858万7千円などを計上した。

三郷小学校体育館
改修前



改修後



○一般会計補正予算（第8号）

追加議案として、原油価格・物価高騰に係る事業として、家計負担の大きい子育て世帯への支援として、小中学校や子ども園等の令和5年1月から3月までの給食費を支援するため404万5千円を計上した。

国庫・県支出金等の財源を活用した事業として、伴走型相談支援体制の拡充と、妊娠・出産時にそれぞれ5万円を給付するため400万円を計上した。

緊急対応を要する事業として、道の駅おばあちゃん市山岡の緊急修繕に300万円を計上した。

12月議会定例会傍聴者数 30名

12月議会 議決結果

(全会一致分)

議案名		採決結果	議案名		採決結果
人事関係	恵那市公平委員会の委員の選任について (榊原 草夫氏)	同意	指定管理	指定管理者の指定について (恵那市介護老人保健施設ひまわり)	可決
	恵那市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (藤井 輝彦氏)	同意		指定管理者の指定について (恵那駅西駐車場 (自転車駐車場含む。) 他1施設)	可決
	恵那市教育委員会の委員の任命について (西尾 修欣氏)	同意	その他	東濃5市消防通信指令事務協議会の設置について	可決
	恵那市監査委員の選任について (堀 光明氏)	同意		和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決
条例関係	恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	補正予算関係	令和4年度恵那市一般会計補正予算(第6号)	可決
	恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市一般会計補正予算(第7号)	可決
	恵那市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市一般会計補正予算(第8号)	可決
	恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	恵那市職員の定年延長制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決		令和4年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	恵那市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
	恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
	恵那市介護老人保健施設条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
	恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市病院事業会計補正予算(第2号)	可決
	恵那市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決		令和4年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算(第2号)	可決

(採決が分かれたもの)

件名	会派・議員名	結果	新 政 会										共産党	公	市	リ	無	無			
			堀 光明	後藤 康司	鶴 岡 伸幸	千 藤 安雄	中 嶋 元則	西 尾 努	柘 植 孝彦	伊 藤 勝彦	服 部 紀史	太 田 敦之							林 貴光	猿 渡 南 江	平 林 多 津 子
条例関係	恵那市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	可決	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議会関係	恵那市議会個人情報保護条例の制定について	可決	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市議会個人情報保護条例施行規則の制定について	可決	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

* 共産党；日本共産党、公；公明党、市；市民ネット、リ；リベラルえな、無；無所属

○；賛成、×；反対、欠；欠席

16日 北海道特別市議会
「恵那市太陽光発電設備の設置に関する条例(こころ)」

15日 飛騨市議会
「性認知症取り組み」

14日 「滋賀県電王町議会」
「えな認知症みらいプロジェクト・若年性認知症取り組み」

9日 「大分県大分市議会」
「過疎地域持続的発展支援計画・移動販売車運行支援事業」

8日 「長崎県諫早市議会」
「移住定住推進事業・過疎地域持続的発展支援計画」

11月 「知多市議会」
「議場の改修・多目的利用・ICT化への対応」

11月 「他市町村からの視察受入状況(6件)」

31日 経済建設委員会管内視察

25日 総務文教委員会管内視察
市民福祉委員会管内視察

24日 議会運営委員会・全員協議会
議会だより編集会議

1月 26日 総務文教委員会・市民福祉委員会
恵那市議会定例会(最終日)

21日 恵那市議会定例会(第4日)

20日 恵那市議会定例会(第3日)

13日 議会運営委員会・全員協議会
経済建設委員会

9日 市民福祉委員会
総務文教委員会

8日 市民福祉委員会
総務文教委員会

12月 29日 恵那市議会定例会(第2日)

28日 恵那市議会定例会(初日)

24日 議会運営委員会・全員協議会

21日 議会運営委員会・全員協議会

15日 議会だより編集会議

11月

議会活動報告

市民福祉
委員会

補正予算による子育て支援対策

子育て支援に関連した国及び県の事業について、以下の補正予算が上程され議決されました。

○子育て世帯負担軽減給付金給付事業費 5600万円

物価高騰などによる子育て世帯への経済的な負担の軽減を図るため、県の事業により高校生以下の子どもがいる世帯に一律1万5000円を支給するもの。

○出産・子育て応援給付金事業費 4000万円

国の第2次補正予算により、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する事業が創設され、出産・育児の相談体制の充実や妊娠時及び出産時の経済的支援としてそれぞれ5万円を給付するもの。

経済建設
委員会

今議会での議案内容は恵那駅西駐車場と武並駅前自転車駐車場の指定管理者と補正予算4件で、当委員会所管の一般会計補正予算の主な内容は、道路の緊急修繕箇所の増加に伴う工事費などに4091万6000円、大雨により被災した恵那峡公園散策路の復旧費として564万2000円、道の駅おばあちゃん市・山岡の緊急修繕を行うため300万円を計上されました。

恵那市水道事業会計補正予算の主な内容は、物価高騰による水道光熱費及び燃料費などに4776万円を計上されました。

恵那市下水道事業会計補正予算の主な内容は、物価高騰による水道光熱費及び燃料費などに3688万1000円を計上されました。



武並駅前自転車駐車場



市道舟山蓮華寺線 拡幅工事予定地



恵那峡公園散策路の復旧箇所



道の駅おばあちゃん市・山岡の緊急修繕

12月議会常任委員会報告

総務文教
委員会

補正予算による小中学校の施設修繕事業

小中学校の施設管理経費・施設改修事業費等において、以下の補正予算が上程され議決されました。

【小中学校の施設管理経費】

老朽化等による施設修繕を行う。

- ・大井第二小学校グラウンド暗梁排水改修工事…………… 2228万2000円
- ・上矢作小学校校舎屋根防水工事…………… 1284万7000円
- ・給食用昇降機改修工事(大井第二小学校・東野小学校)ほか…………… 709万5000円
- ・恵那西中学校技術教室棟屋根防水工事…………… 2725万6000円
- ・恵那北中学校プールサイド改修工事…………… 769万3000円
- ・上矢作中学校校舎等屋根防水工事ほか…………… 1508万5000円

【小中学校の施設改修事業費】

避難所となっている体育館へ空調設備を設置するための実施設計を行う。三郷小学校校舎・体育館大規模改修の工事費を増額する。

- ・小・中学校体育館空調設備設置設計委託…………… 6185万3000円
- ・三郷小学校大規模改修工事…………… 4147万7000円増

【修繕予定箇所の一部】

▶上矢作小学校校舎屋根防水改修



▶上矢作中学校校舎屋根防水改修



▶岩邑中学校玄関前修繕



▶恵那西中学校技術教室棟屋根防水改修



▶恵那北中学校プールサイド改修



▶恵那西中学校フェンス修繕





いとう かつひこ
伊藤 勝彦

小中高の連携による 「新恵那市史」について

小中高の連携による 教育力の向上について

問 市内小中学校における総合的な学習の時間の現状と実施していくうえでの課題は。

答 中学校では、職場体験を通じた学習や防災、地域貢献活動等を実践。小学校では、地域の歴史や文化、産業を調べ体験する学習等を実践。コミュニティスクールを組織してから地域との連携で学習が充実してきた。多くの時間と労力を要する教師の大きな負担が実践上の課題である。

市内小中学校と高校との連携の現状とその効果は。

答 恵那農高と東野小、大井第二小、恵那南高と明智小中、南地区5中学校、恵那高と市内中学校との連携がある。キャリア教育の充実という点で効果的である。さらなる小中高の連携の可能性や方向性は。

答 教育活動に接点を見出す取り組み、今後さらに求められ、探究力の育成を図るような取り組みをしていく必要がある。(副教育長)

『新恵那市史』について

問 『新恵那市史』の作成のねらいと具体的な内容は。

答 「令和6年10月の市制20周年の節目に向け、市町村合併から現在までの新市20年として編纂し後世に記録として残す」を基本方針として、新市20年の歴史を資料をもとにまとめ、作成していく。

「新恵那市史」は3章立てとする。第1章は地域合併協議会設置までの経緯や住民への周知など、合併の概要、第2章は新市の誕生や政治・行政、産業・経済、教育・文化など新市の変遷、第3章が年表、写真、統計などの資料編が具体的な内容となる。

古代から近代まで豊かで誇るべき歴史のある恵那市だが、旧恵那市や五か町村など、合併までの市町村史の取り扱いは。

答 新しい市史編纂は、通常30年〜40年ごとに編纂されている。今後の市史編纂の時期に合わせて検討する。

(教育委員会事務局長)

一般質問



やまのうち としひろ
山内 敏敬

子ども・子育て支援計画について マイナンバーカードを活用した 窓口のICT化推進について

問 第2期計画が実施され、2年が経過しての成果の見た事例について。

答 産後ケアは市立恵那病院で宿泊、日帰りのみの利用が、自宅に助産師が訪問する訪問型を令和4年度から導入。多胎児支援では、回数が多くなる妊婦の健康審査への5回分の助成を拡大し、育児への不安や負担感、孤独感の軽減を図るため、訪問や健診などへの同行支援を行う事業を開始。令和4年度から、子ども医療費の高校生世代まで医療費の無償化を実施。経済的支援の観点で、第3子以降の福祉サービスの利用料を無償化。中央公園の全面リニューアルを具体化し、緑の基本計画を策定。

フードロス軽減事業では、株式会社パローと覚書を交わし、消費期限が迫った商品の無償提供を受け、独り親世帯に提供する事業が毎月開催できるようになった。

(医療福祉部長)

問 マイナンバーカードのメリットが活かせる利活用の展望について。

答 デジタルでの本人認証、物理的なカードとしても活用できる。窓口業務ではマイナンバーカードを活用したサービスで、コンビニ等でのコピー機を利用した証明書発行サービスがある。コンビニ等での証明書発行のメリットは、役所の開庁時間に関係なく、休日や夜間でも証明書が取得できる。導入に係るシステムの改修経費や運用経費などのコスト面も考慮し検証を行いタイミングをみながら進めて行く。マイナンバーカードを利用し、書かない窓口やオンライン申請など、デジタルの力を組み合わせ、市民課窓口だけではなく、全庁的に便利で分かりやすい窓口になるように、関係課とも検討を進め、サービスの導入に当たり、窓口サービス向上チームにおいてより良い方向性を考えて行く。

(市民サービス部長)

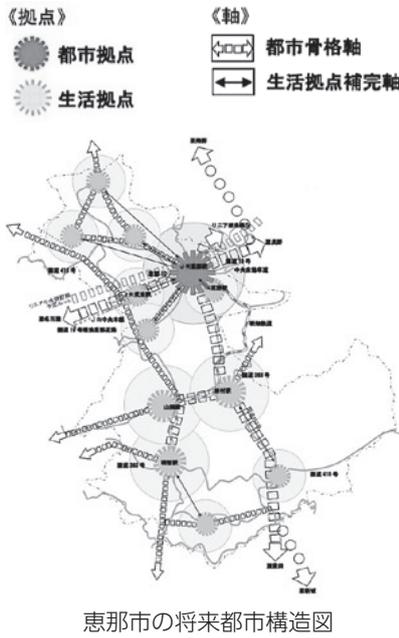


はつ どり のり ぶみ
服部 紀史

希望のもてる地域づくり 人口減少を受け入れた地域づくり

問 恵那市が目指す将来都市像の概要は？

答 人口の減少に加えて世帯数も減少していく予想の中で、基本的には都市や市街地の規模を拡大する必要は小さい状況にあり、本格的な高齢化の進展、財政制約の高まり、地球環境問題の深刻化などに適切に対応した都市構造の形成を図る必要がある。こうした観点から、「拠点」「軸」「ゾーン」からなる都市機能が集積した各地域の拠点が公共交通などによって連携した「拠点ネットワーク型都市構造」の形成を目指す。（建設部長）



問 将来都市像を定義している都市マスタープランの推進体制の強化策は？

答 恵那市都市計画マスタープランは、今後とも恵那市が個性的で魅力的な都市であり続けるために、望ましい将来像と都市整備の目標を明確にし、事業者や市民の皆様とそれを共有し、協力し合いながらまちづくりを推進することが必要であり、今後は関係各課や関係団体との意識の共有を図り、庁内の横断的な連携を図りながら事業を推進していきたい。（建設部長）



さわ たり みな え
猿渡 南江

学校給食費の無料化への 展望について

憲法26条の2で「義務教育はこれを無償とする」とうたわれていて、子どもたちの1日の食事の3分の1を占める給食は大変重要である。長引くコロナ禍の中で子育て世帯の苦しい状況がある。

問 給食費はいくらか。

答 小学校1食あたり286円
中学校324円。

問 滞納率は。

答 今年から給食センターが直接集めるようになり、収納率は99・7%、滞納率は0・24%。過年分の滞納額に対する収納率は7・28%。

問 未払い家庭の現状は把握しているか。

答 学校が各家庭の状況がある程度把握しており、支援が必要となった場合は恵那市要保護児童・生徒及び準要保護児童・生徒認定制度を勧めるなど、各家庭に合わせた対応をしている。

問 制度の助成を受けている世帯数と子どもの数は。

答 令和4年12月1日現在で、小学生226人、中学生166人（合計392人）が対象となっている。年々増えている。

問 給食費を無料化した場合の市の負担は。

答 4年度の予算の中で約1億7千万円、材料費は2億9791万7千円。

問 完全無料化が出来ない場合でも、多子世帯への助成の可能性は。

答 給食費は保護者負担となっているため、給食費の無償化は考えていない。しかし、令和5年の1～3月までは給食費を全額支援する。（教育委員会事務局長）

要望 恵那市の1年の一般会計約350億円の1%弱で給食費の無料化が実現する。給食は教育の一環であり、ぜひ来年度の予算に組み入れて欲しい。

その他の質問
・観光施設のトイレ整備状況と学校への生理用品設置の現状について



あき やま よし ひろ
秋山佳寛

長島小学校老朽化問題 三郷用水老朽化問題 近隣の医療体制

長島小学校老朽化問題

問 校舎の老朽化について説明を願う。

答 昭和45年に建設された校舎は補修を行っているが、建て替えが必要な状態。

問 どのような手順で進んでいくのか。地元の意見は取り入れられるのか。

答 第一回検討委員会を12月中旬に開催、地元の見解を聴いて行う。長島小学校には学林がある。学林の木の利用も考えていきたい。
(教育委員会事務局次長)



長島小学校

三郷用水老朽化問題

問 水利の状況を問う。

答 1770年以前より使われている用水で、当時の「灌漑」面積は70ヘクタール、飲料用水の主な取水口としての利用にも使われている。現在では農業用の

「灌漑」面積は5ヘクタールと減少したが、市街地3600件の飲料水の水利利用を行っている。

問 老朽化が心配、どのような管理をされているのか。

答 年一回、上下水道課と農政課の共同にて、簡易点検や、枯れ葉など流水阻害物の除去を実施。漏水の影響が大きな箇所から順次補修を毎年、50メートル程度実施している。今後、水利用・老朽化も考慮して検討を行っていく。
(農林部次長)

恵那病院の産科について

問 人気があり受診者が増えていくと聞か。

答 開設当時、年間の分娩者数は200人を想定し産科を設置したが、(平成30年度231人、以後246人、260人、288人と年々増加)想定以上の分娩者数となり、医師や看護師等のスタッフの確保、診療室や妊婦さんの待合室が手狭になっている事など、改善に向けて検討を行っている。
(医療福祉部次長)

一般質問



まち の みち あき
町野道明

子育て・児童・福祉 について

問 子育てについて、①伴走型ガイドラインや研修の取り組みはできているか。②妊娠・出産時に10万円相当の子育て応援交付金の取り組みはどのように行うか。③静岡県の通園バス事故を受け、各自治体で通園バスの緊急対策が義務化となった。当市の取り組みは。

答 ①子ども家庭庁が取り組む施策として、伴走型の支援充実の動きとなり、母子手帳交付時に面接し、産前サポート、出産、出産後までの間で、早い段階から関わり地区担当保健師が伴走的に対応していく。また、きめ細かいケースも増えているので、関係機関とも、きめ細やかに連携する。②出産・子育て応援交付金は、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として行う。子育ての負担感、孤立感につながりがちのため、面接、アンケートを行い妊娠届出時に5万円、出生届出後に5万円、支給していく。対象者は、令和4年4月1日以降の出生児を養育す

る方で、すでに妊娠届出、出産されている場合は一括して10万円を支給する。③市内の通園バスの降車方法等について確認調査を行った。運転手や添乗員が共有して降車、忘れ物、園児の報告、保護者との連絡などの最終の確認と、バス車内で園児がクラクションを鳴らす訓練をした。また、速やかに安全装置の設置に向かって取り組む。(医療福祉部技監・副教育長)

問 児童・福祉について、物価負担軽減策、福祉施設の支援策の取り組みは。

答 給食費は、新型コロナウィルス地方創生臨時交付金を活用し、令和5年1月から3月まで全額支援する。福祉施設については、光熱水費対策交付金、国や県の動向を見ながら支援していく。
(副教育長)

その他の質問

母子手帳の改正、不登校の居場所、デジタル教科書・タブレットの更新



ひらばやし たづこ
平林多津子

惠南地区の 中学校統合について

問 教育環境等検討委員会ではどこで意見聴取や報告がなされていたのか？

答 地域自治区や市PTA連合会では、3回の会議後に報告した。

問 委員の皆さんには、これまでの流れや地元の懸念について説明があったのか？

答 委員会の発足までに地域自治区長に報告し、保護者への説明会及び意見交換会を行った。

問 検討委員会は、旧惠那市からの代表が半数みえるが、惠南の地理的状況は理解されているのか？

答 各地域から代表が出ており、地理的なことは理解されていると考える。

問 委員会では傍聴者に資料配布されず、議事録公表も速やかになされないのはなぜか？

答 惠那市の情報公開制度の基本的な考えを示した手引きに基づき資料配布は行わなかった。傍聴者も閲覧できるようにその場で公表はしている。ホームページの公開に時間がかかったことはお

詫びする。

問 保護者への意見交換会ではどのような意見が出され議論したのか？

答 「統合できなかった理由」「新築や明知鉄道利用のメリットは？」「通学に時間がかかる」「2校3校はないのか？」「早く統合時期を決めてほしい」「一刻も早く統合して多くの出会いをさせてほしい」「安心のスクールバス利用はないのか？」「もっと保護者の意見を聞いてほしい」「何も決まっていないのに説明会をやられても困る」等々。

問 意見交換会後の論議や周知はどのように行われたか？

答 出された意見に対し、その場で回答した。提言が決定してから保護者への報告を行った。シミュレーションはどこまで進んでいるか？

問 通学時間を重視したルートとバスの購入台数を示した。中型5台・マイクロボス1台・ワゴン2台の購入が必要。

答 (教育委員会事務局次長) その他の質問

在宅介護が安心して行えるために



あんど なおみ
安藤直実

子どもの意見を尊重し、 まちづくり参加を

問 少子化が止まらない中「子ども基本法」が4月から施行となり、とても期待するところ。そのポイントは？

答 子どもの権利を包括的に定め、「差別禁止、生命生存発達の権利、意見の尊重と最善の権利」等を規定しています。自治体は、子ども施策へ「子ども等」の意見を反映することとされました。

問 国で行っているように、惠那市で「子ども政策モニター」を募集し市政参加していただくことはどうか。また、市で改築する「中央公園」は遊具や施設も充実します。子ども達にその利用当事者として、公園の管理運営に意見を言う等の参画していただくことはどうか。

答 政策モニターを市で行う場合、世代ごとに一定のサンプルがとれるのかわからない懸念があります。一方SNSの活用は有効と考えます。「子ども子育て会議」の意見を聴き検討します。

(医療福祉部長)

「公園在り方検討委員会」を開き、市全体の公園整備方針を検討します。子どもの意見聴取については、「子ども子育て会議」の意見を踏まえて考えていきます。

問 子どもの権利について広く市民に周知を。

答 市ではすでにホームページに掲載しています。今後、国は子どもや保護者・教職員等子どもに関わる大人はじめ広く社会へ周知するとしているので、市でも実施していきたいと考えます。

問 その他の質問
地域自治区の活動における子ども・若者の参画について

(医療福祉部長)



さ さ き とおる
佐々木 透

公共施設における 福祉環境の充実について

問 公共施設における男性トイレ内へのサンタリーボックスの設置が必要と思われませんが、どのように考えてでしょうか。

答 市としては、誰もがお互いを尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、市が管理する施設のうち不特定多数が利用し、職員が常駐する施設から順次男性用個室トイレにサンタリーボックスを最低でも1か所設置してまいります。(総務部長)

問 近年は、人工肛門や人工膀胱によるストーマを増設されておられる方への利用しやすいトイレの設置が拡大されておりますが、現在の当市におけるオストメイト対応のバリアフリートイレへの設置状況についてお聞き致します。

答 現在、公共施設59のうち51の施設にバリアフリートイレが設置されています。そのうちオストメイト用設備を設置している施設は、市役所西庁舎、市立恵那病院、中央図書館、まきが公園体育館、各コミセンなど13施設

あります。(医療福祉部次長)

あります。(医療福祉部次長)

問 民間でボランティア活動として、バリアフリートイレへの案内活動に対する取り組みなど、トイレ環境への調査研究を行われておられる団体に対する活動の評価と今後の支援は。

答 障害者自立支援クラブ「ぴあつぽ」に対しては、バリアフリートイレガイドの作成等の活動に対し、完成したガイド冊子を活用するための広報等の支援を行っています。ぴあつぽさんはこれまで障がい者に対するサポート活動を熱心に取り組んでいる団体と認識しており、今後も民間団体等が実施している助成事業も紹介しながら、活動の支援を行って参りたいと考えております。

(商工観光部長)



ぴあつぽ発行
バリアフリートイレガイド

一般質問



はやし たか みつ
林 貴光

健診事業の推進について

問 当市における国保被保険者の年齢階級構成はどのようなか。

答 60歳以上の方が全体の67%で、少子高齢化と、社会保険の加入要件緩和もあいまって国保被保険者数は今後減少傾向に拍車がかかる見込みである。

問 近年における当市の一人当たりの医療費の推移と傾向はどうか。

答 令和3年度は41万1768円で県内21市中、上から10番目で年々上昇傾向である。

問 一般会計繰入と国民健康保険基金の活用に関する市の考えは。

答 令和3年度末の基金積立残高は8億4500万円余。コロナ禍の現状を踏まえ、保険料は5年間据え置いている。今後も法律、規則に基づき保険料安定の観点から基金の活用を適切に行い国保事業の運営を行っていく。

問 医療費の適正化に向けた特定健診事業の現状と受診状況はどうか。

答 特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した健診で、糖尿病等の生活習慣病の予防と早期発見を目的に実施している。令和3年の受診率は42.8%

で近年は40%前半を推移している。現在受診率向上に向け積極的に啓発活動に取り組んでいる。

問 特定健診以外に実施している健診事業はどのようなものがあるか。

答 75歳以上を対象とした「すこやか健診」「さわやか口腔健診」39歳以下を対象とした「若いひと健診」「各種がん検診」等があるが、いずれも受診率向上と保健指導の充実が課題である。

問 がん検診の概要は。血液や尿から出来るがん検診の情報を把握しているか。

答 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん等。部位ごとに500円の負担で検査を受けられる。新しい検査手法は国の認可が下りていないので今後国の動きに注視していく。

問 当市の平均寿命と健康寿命はどうか。

答 平成29年県データでそれぞれ男性80.55歳、79.24歳、女性86.81歳、84.10歳である。平成22年には岐阜県の平均で当市男性の平均寿命が最下位という事実もあり「健幸都市宣言」を行うこととあり「引き続き全市民的な取り組みで市民の健康寿命の延伸を目指していく。

(医療福祉部技監)

3常任委員会が

市内の関係所管事項について視察を実施

恵那市議会の3常任委員会では、それぞれの委員会の所管事項に関係する施設や現場について、現在当市が抱える課題等を調査することを目的として視察を実施しました。

視察先は、主に令和4年度行った事業及び令和5年度に実施予定の事業で、各担当課から内容・課題・今後の展開等についてそれぞれ説明を受けました。

各常任委員会では、市民の皆様のご意見や、当市が抱える問題・課題を把握し、少しでも解消すべく議会において取り組み、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

総務文教委員会

1月25日（水）市内の計8カ所の視察及び座学での勉強会を実施しました。

〔視察先〕

- ・ シェアサイクル事業（市役所）
- ・ トイレ洋式化事業（東野こども園）
- ・ ICT教育授業見学（恵那東中学校）
- ・ 小学校大規模改修工事（三郷小学校）
- ・ 水槽付消防ポンプ車更新について（明智消防署）

市民福祉委員会

1月26日（木）市内の計7カ所の視察及び座学での勉強会を実施しました。

〔視察先〕

- ・ 長島第3学童保育所（長島町）
- ・ 障がい者地域生活支援事業
ふれあいホームこぶし（長島町）
- ・ 健康プラザ大規模改修工事（山岡町）
- ・ 就労継続支援B型事業所結喜（山岡町）
- ・ 重層的支援体制整備事業極楽食堂（岩村町）
- ・ 岩村福祉センター（岩村町）
- ・ 国保上矢作病院改修工事（上矢作町）
- ・ マイナンバー、国保事業、重層的支援体制整備事業についての座学（市役所）

経済建設委員会

1月31日（火）市内の計13カ所の視察を実施しました。

〔視察先〕

- ・ 恵那西工業団地及び周辺道路整備事業（武並町・三郷町）
- ・ 大崎浄水場（長島町）
- ・ 上矢作グラウンドROBOZのドローン活用事業（上矢作町）
- ・ 農事組合法人富田営農のスマート農業の取り組み（岩村町）
- ・ ケイナククリーンの廃食用油再利用の取り組み（岩村町）
- ・ 蔵前橋災害復旧事業（岩村町）
- ・ 山城サミットを契機とした飯羽間城址整備（岩村町）
- ・ 恵那ジビエの加工施設（明智町）
- ・ 柘植建設の大径木製材工場郷山ファクトリー（飯地町）
- ・ 飯地・中野方線
勢井後橋整備事業（中野方町）
- ・ 農事組合法人アグリアシスト中野方の恵那スマートテロワール事業（中野方町）
- ・ 恵那峡リニューアル（大井町）
- ・ 中央公園再整備事業（大井町）

主な出来事

石原良純さんがSDGs講演会で
村上佳菜子さんがスケート教室・
トークショーで恵那市へ



子どもらに手本を示す村上さん

1月14日「恵那市SDGs講演会」が開催され、市内外から約600人が会場に集まり、SDGsへの関心を高め理解を深めました。俳優であり気象予報士でもある石原良純さんを講師に招き「空を見よう・いま自分たちができること」と題して、世界で話題になっていることや気候変動などに関わる講演を聞きました。第2部は「つなぐSDGsの輪・パートナーシップから見た私のSDGs」と題し中部大学岡本肇准教授の進行により



環境を守る行動について話す石原さん

恵那電力(株)・(有)マト・恵那農業高校などの先進的な取り組みについての報告を受けてのパネルディスカッションが行われました。1月15日はプロフィギュアスケート



逃げ出さず努力を続けたスケート人生を振り返る村上さん

ターの村上佳菜子さんのトークショーがありました。午前中初心者向けのスケート教室を行い、午後はトークショー。明るく自分の日常生活や思いなどについて語ると共に、オリンピックについて「日本を背負っていることの重さが、他の世界大会とは全く違う特別な大会でした」と振り返られました。

表紙の説明

百間は一見に如かず、
管内視察を実施

10年に一度という「寒波」の到来した時期と重なり道路凍結等が心配されましたが、無事実施することができました。予算可決した事業の進捗状況や課題となっている事について市職員から説明を受けました。視察を通した中で、今後の議会活動において、事業のさらなる検証や新たな課題等の調査研究を進める努力をしていきたいと思えます。

編集後記

2020年に新型コロナウイルスが初めて国内で確認されて以来4年目を迎え、国・県はこれまでに幾つかの行動制限や緊急対策を講じ、医療体制と経済対策の同時政策として取り組んで来ましたが新型コロナウイルスが与えた社会、暮らしへの影響はとて大きなものとなりました。

2023年、政府はウイズコロナに向けて安全を確保した上、新型コロナウイルスを感染症法上の5類感染症とする、としました。コロナ禍からの脱出の大きな一歩となり、一抹の不安もありながら今後、将来に向けた希望として新たな社会に期待したいと思えます。

さて、4月からは令和5年度として新年度が始まります。今定例会(3月議会)ではその為の大切な内容も沢山含まれています。また、昨年は恵那市において全国更には世界からも注目をされた年であったと思えます。来年度も市政の繁栄と更なる飛躍を願い、新たな議会構成による体制で、引き続き取り組んで参ります。

(T・S)

広報広聴特別委員会

- 委員長 太田 敦之
- 副委員長 服部 紀史
- 委員 平林多津子、佐々木 透
- 委員 西尾 努、安藤 直実
- 町野 道明

次回の議会だよりは、6月1日の発行を予定しています。